

目 次

I 公募の概要

1	はじめに	1
2	共同利用の趣旨	1
3	共同利用公募の形態	1
4	応募から決定までのスケジュール	1
	※共同利用公募の概要図	2

II 公募の内容

1	参加資格	3
2	実施期間	3
3	公募する研究種別	3
	①共同利用登録公募	3
	②共同利用研究公募	3
	(1) 一般研究1	4
	(2) 一般研究2	4
	(3) 萌芽・若手型研究	4
	(4) 重点型研究	5
	③共同研究集会	6
4	共同研究レポート	7

III 経費

1	経費の性格	8
2	経費の区分	8
3	予算の執行手続き	9

IV 申請書の作成・応募方法等

1	応募方法	10
2	申請書類及び提出部数	10
3	申請期日	11

※申請書等の作成・記入上の注意

表1	統計数理研究所内分野分類	12
表2	主要研究分野分類	12
表3	参加予定者の記入例	14

V 審査等

1 審査	1 6
2 採否決定の通知	1 6
3 配分経費の通知	1 6

VI 施設等の利用

1 案内	1 7
2 電子計算機	1 7
3 図書等	1 7
4 IDカード	1 7
5 その他	1 8

VII 成果の公表

1 実施報告書	1 9
2 来所日数調査	1 9
3 情報公開	2 0
4 研究成果の取扱い	2 0
5 研究成果の発表	2 0
6 秘密保持義務	2 1

VIII その他

1 研究計画の変更等	2 2
2 研究集会開催の周知	2 2

参考資料

別表1 旅費早見表	2 4
別表2 共同研究レポート一覧	2 6

申請書等様式一覧

I 公募の概要

1 はじめに

統計数理研究所（以下「研究所」という。）は、昭和60年に大学共同利用機関として改組され、平成16年4月から、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構統計数理研究所として生まれ変わりました。研究所では、共同利用を推進することに努めております。公募型の共同利用は共同利用体制の一部であり、その件数は当初の62件から122件（平成18年度）に拡大し、その裾野は着実に広がり、順調に発展しております。平成19年度においても公募型の共同利用を推進することに努めてまいりたいと存じます。この「統計数理研究所共同利用公募案内」を参照の上、研究所を積極的に利用していただくことを心から念願しております。

2 共同利用の趣旨

研究所の共同利用は、大学等に所属する研究者が、研究所にこれまでに蓄積されて来たさまざまな研究資源を活用して、統計に関する数理及びその応用の研究を行い、その成果をもって学術研究の発展に資するものです。研究所の物的資源としては、計算機設備や図書が利用できます。また研究所が開発した一連のコンピュータパッケージや、その他のソフトウェアが利用できます。これらにもまして重要な資源は、研究所の有する統計科学全般に関するノウハウであり、人的資源です。研究所の公募型の共同利用は、研究所内外の研究者の交流の場を提供することにより、統計科学の理論と応用における多面的な発展に寄与しています。

3 共同利用公募の形態

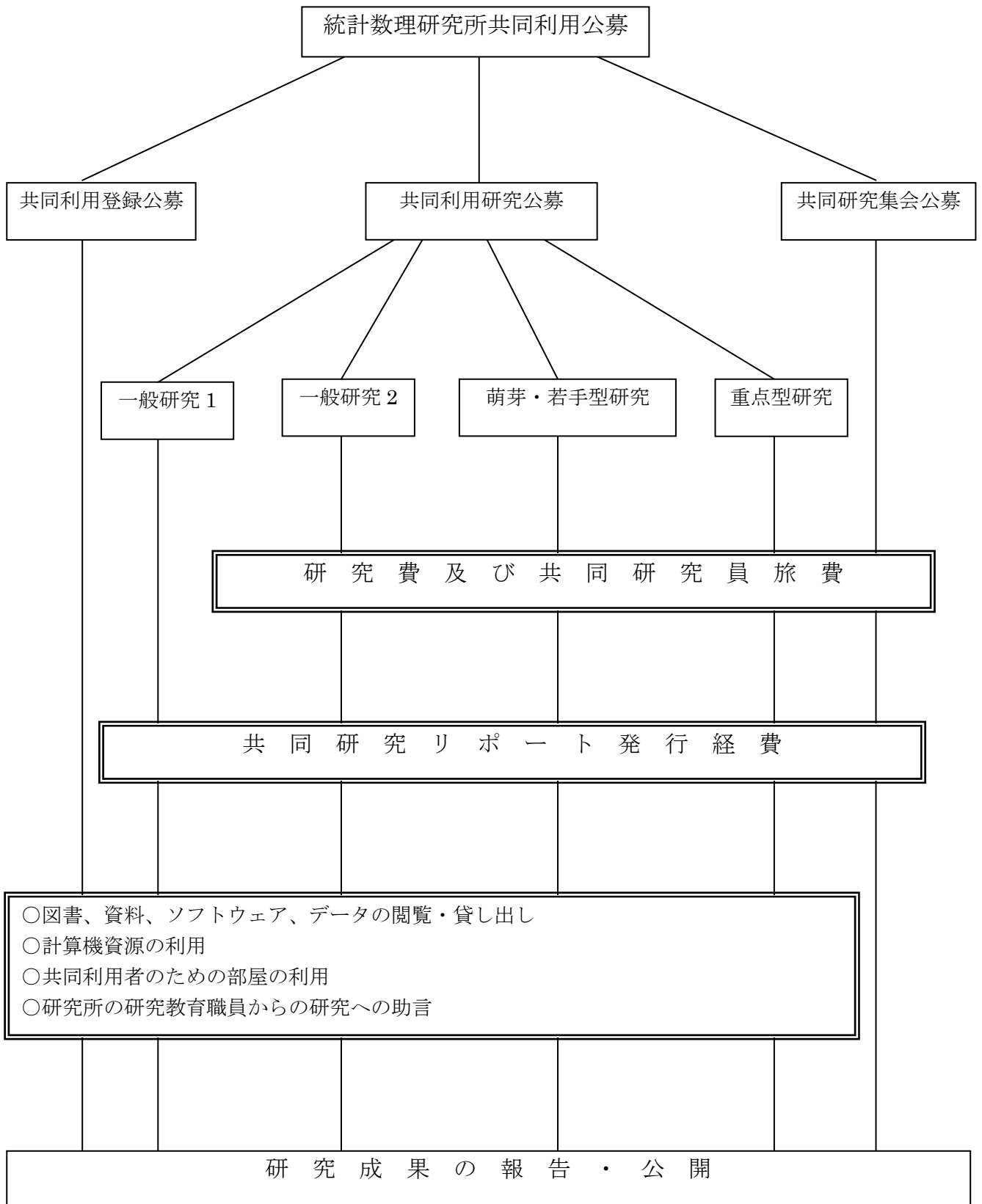
共同利用公募には、共同利用登録公募、共同利用研究公募、共同研究集会公募があります。

さらに共同利用研究公募には、一般研究1、一般研究2、萌芽・若手型研究、重点型研究の4つの種別があります。

4 応募から決定までのスケジュール

平成18年	11月	公募受付開始
	12月20日（水）	公募受付締切
平成19年	1月～2月	審査
	3月中旬	採否決定通知送付
	6月中旬	配分経費決定通知送付

共同利用公募の概要図



 は、利用できる範囲を示す。

II 公募の内容

1 参加資格

国公立大学、大学共同利用機関、国公立試験研究機関及び独立行政法人に所属する国内研究者又は科学研究費補助金の応募資格を有する者が参加できます。申請を行う研究代表者は、上記機関に研究活動を行うことを職務に含む者として、所属する者でなければなりません。研究代表者とともに研究に参加する研究分担者には、上記資格に準ずる外国人も含むことができます。

国公立大学の大学院に所属する学生等は、研究代表者にはなれませんが、研究分担者になることは可能です。ただし、指導教員の承諾があれば共同利用登録の申請を行うことが可能です。

なお、学部学生は、研究代表者、研究分担者にはなれませんが、卒業論文作成のためであれば指導教員の承諾の上、共同利用登録の申請を行うことが可能です。

2 実施期間

平成19年度共同利用の期間は、平成19年4月1日から平成20年3月31日までです。

3 公募する研究種別

① 共同利用登録公募

統計数理に関する研究を行う目的で氏名等を登録し、以下のような便宜の提供を受けることができます。

(1) 施設等の利用

図書・複写機等の利用ができます。利用については、研究所の諸規則を厳守し、利用する施設等の管理責任者の指示に従ってください。

(2) 計算資源の利用

研究所の計算資源が利用できます。ただし、利用可能な計算資源は申請内容を検討して変更することがあります。

(3) 助言

研究所の研究教育職員から研究のための助言を受けることができます。その場合は、あらかじめ、その研究教育職員とアポイントメントをお取りください。

なお、助言者を確定できない場合は、総務課研究協力係にお問い合わせください。

共同利用登録を行った所外の研究者（以下「利用登録者」という。）は、「VI 施設等の利用」もご参照ください。

② 共同利用研究公募

統計数理に関する研究を行う目的で、共同利用研究を公募します。

(1) 参加予定者

共同利用研究の参加者は1名以上（代表者を含む）とし、研究所外の参加者（以下「共同研究員」という。）のみで組織された研究であっても、差し支えありません。参加者は自動的に利用登録者になります。

ただし、20名以上の参加者があり、研究集会が中心となる場合は、共同研究集会への申請をご考慮ください。

(2) 所要経費

所用経費として、研究費および共同研究員旅費が申請できます。（一般研究1を除きます。）

研究費として、研究目的のために使用する消耗品や会議費などのための「**基礎研究費**」（金額は審査時に一定額を配分します）、「**書籍費**」（原則として研究所図書室に保管されます）、「**雑費**」を申請できます。**共同研究員旅費**は、共同研究員が研究所に来所するための費用として充てることを原則とします。研究費と共同研究員旅費に関する詳細な制限事項については「Ⅲ 経費」をご覧ください。また、統計数理研究所共同研究リポート（以下「共同研究リポート」という。）発行の申請を行うことができます。

(3) 予算執行責任者

共同利用研究に係る予算の執行、各機関からの参加者、研究所内の参加者への研究連絡等を担当するために研究所の研究教育職員1名（客員は除く）が予算執行責任者となります。

参加予定者に研究所の研究教育職員（客員は除く）が含まれている場合は、1名を予算執行責任者として指名してください。研究所の研究教育職員を参加者として含まない共同利用研究の場合は、共同利用委員会で指名した研究所の研究教育職員が予算執行責任者となります。研究所の研究教育職員を研究代表者とする共同利用研究においては、代表者が予算執行責任者を兼ねることができます。

なお、重点型研究についてはコーディネーターが予算執行責任者となります。

共同利用研究公募は、一般研究1、一般研究2、萌芽・若手型研究、重点型研究の4種別に分けて公募します。

(1) 一般研究1

研究所の共同利用の一環として行われた研究であることを公式に記録することを目的としています。

経費の申請をすることはできませんが、共同研究リポートの発行の申請を行うことはできます。

(2) 一般研究2

本研究は、統計数理に関する一般的な共同利用研究を行うものです。

経費の申請及び共同研究リポートの発行の申請を行うことができます。

(3) 萌芽・若手型研究

本研究は特に、萌芽的な研究及び若手研究者による研究を優先的に推進することを目的としています。

本種別で応募し、萌芽的な研究であることの説明が認められるか、または研究代表者が若手（37歳以下）である場合、優先的に採択されます。

経費の申請及び共同研究リポートの発行の申請を行うことができます。

なお、萌芽・若手型研究で採択されなかった申請は、自動的に一般研究2としてもう一度審査されます。

(4) 重点型研究

本研究は、共同利用委員会で決定された重点テーマに関する共同利用研究を募集するもので、以下のような特徴があります。

- ・重点テーマごとにコーディネーターを置きます。コーディネーターは研究所の研究教育職員の中から共同利用委員会が決定します。
- ・傘下の各共同利用研究がコーディネーターを中心にして重点テーマを多角的に研究します。そのために、重点テーマごとに年1回以上の共通公開研究集会を行います。
- ・予算の決定、使用などはコーディネーターが傘下の各研究代表者と相談しながら、柔軟に行うことができます。
- ・重点テーマは希望により、1年間の延長が可能です。

平成19年度は以下の3つの重点テーマに関連する共同利用を公募します。

- ・重点テーマ1：「統計メタウェアの開発」
- ・重点テーマ2：「統計科学における乱数」
- ・重点テーマ3：「確率解析と統計的推測」

重点テーマ1	統計メタウェアの開発
コーディネーター	石黒真木夫（統計数理研究所モデリング研究系・教授） 田村 義保（統計数理研究所データ科学研究系・教授）
ねらい	統計科学の研究の成果物としてはソフトウェア、ハードウェアなどがあります。しかしながら、統計的データ解析を行う場合には、モデルを考え、そのためのアルゴリズム、数値手法を考えた後、実現手段としてソフトウェア、ハードウェアを開発するという手順を踏みます。モデル、アルゴリズム作成までの茫漠とした知的情報処理をモデリングと呼び、モデリングに関わるモノゴトをメタウェアと呼ぶことを提唱します。このメタウェアについての研究を公募します。キーワードを読んでもいただければ、メタウェアのイメージが深化するものと思います。
キーワード	モデルバンク、「ソフトウェアではない」、機械学習、ブログ、「人間の頭脳 = wetware > metaware > software = プログラムやその作成技術などの総称」

重点テーマ2	統計科学における乱数
コーディネーター	田村 義保（統計数理研究所データ科学研究系・教授）
ねらい	統計科学の研究で乱数が重要あることは言うまでもないことです。乱数の検定方法については、NISTが提案する方法がよく使われていますが、不十分であります。また、並列計算機用の乱数発生方法についても安心して使えるものはありません。また、暗号のための乱数についても統計科学の研究者から提唱することがあるものと思われます。本研究では、乱数の並列発生法、乱数の検定法、暗号のための乱数発生法を中心とした乱数に関する研究の促進を図ります。また、超大量の乱数を必要とするような計算統計学の諸手法についても研究テーマに含めたいと思います。
キーワード	並列発生、検定、暗号、無作為抽出、物理乱数、超大量乱数

重点テーマ3	確率解析と統計的推測
コーディネーター	西山 陽一（統計数理研究所数理・推論研究系・助手）
ねらい	近年、複雑なランダム現象の統計的推測のために確率解析の手法を用いることが盛んになってきています。統計学に必要な数理的方法の進化・深化に基づき、確率過程の統計的推測の新しい理論とその応用の研究を行います。
キーワード	複雑なモデル、確率過程、推測・決定理論

経費の申請及び共同研究レポートの発行の申請を行うことができます。

なお、重点型研究として採択されなかった申請は、自動的に一般研究2としてもう一度審査されます。

③ 共同研究集会公募

統計数理の研究及び関連領域との交流を活性化させることを目的として、研究集会を開催するための申請を行うことができます。経費の申請及び共同研究レポートの発行の申請を行うことができます。

(1) 参加予定者

特に人数制限はありません。ただし、20名以上の参加者が予定されている場合、優先的に採択されます。

(注意)

申請が採択された場合、共同研究集会の参加者は利用登録者になりません。ただし、複写機の利用は可能です。

(2) 開催

公開とします。

(3) 日程の周知

全ての採択された共同研究集会の開催日程を周知するために、研究所のホームページ等を活用した広報活動を、当該年度の初めから開始できます。申請時に、その日程、参加者の人数、講演予定者について記載してください。なお、申請時に詳細なプログラムが決まっていない場合はおおよその予定でかまいません。

(4) 共同研究レポート

共同研究レポートを可能な限り発行し、希望者に広く配布できるようにしてください。

共同研究レポートの発行の予定がない場合は、発表要旨集を用意し、2部を総務課研究協力係に提出してください。

(5) 実施場所

原則として研究所とします。研究所外で共同研究集会を実施する場合は、その理由を詳細に記入した用紙（様式自由、A4判用紙）を申請書に添付してください。

(6) 所要経費

研究費は共同研究集会実施のための消耗品、会場費及び開催を補助する者を雇用する費用、

共同研究員旅費は共同研究員が共同研究集会実施場所に出張する費用として充てることを原則とします。

(7) 予算執行責任者

参加予定者に研究所の研究教育職員（客員は除く）が含まれている場合は、1名を予算執行責任者として指名してください。予算執行責任者は、その共同研究集会に係る予算の執行、代表者に協力して各機関からの参加者、研究所内の参加者への研究連絡、共同研究集会開催の広報等を担当します。研究所の研究教育職員を参加者として含まない場合は、共同利用委員会が指名した研究所の研究教育職員が予算執行責任者となります。研究所の研究教育職員を研究代表者とする共同研究集会においては、代表者が予算執行責任者を兼ねることができます。

4 共同研究レポート

共同利用の成果を公開するため、研究所では共同研究レポートを発行しています。

平成19年度の共同利用研究公募、共同研究集会公募の成果及び平成18年度の共同研究の成果については、共同研究レポートとして登録の上、印刷・発行することができます。

平成19年度において共同研究レポートを発行する計画がある場合は、共同研究レポート発行経費申請書（様式4）を申請期日までに、必ず提出してください。

共同研究レポートは、個々の共同利用研究等に配分される経費外で予算措置を行います。共同研究レポートの経費・様式・手続きについては総務課研究協力係にお問い合わせください。

なお、参考として、P. 26に現在までに発行した共同研究レポートの一覧を示しています。

Ⅲ 経費

1 経費の性格

この経費は、科学研究費補助金等のような補助金的な性格のものではなく、研究所において、所定の会計諸手続きによって執行されるものです。

2 経費の区分

経費には、研究費と共同研究員旅費があります。

(1) 研究費

研究費は、施設の工事費、什器類の購入費及び研究所以外での研究補助・資料整理のための経費（野外調査の補助に係るものは除く）として支出することはできません。

当該研究を遂行する上で必要な消耗品を購入することができます。消耗品等の購入は、予算執行責任者を通じて、管理部会計課が行いますので、共同研究員が独自に業者へ発注されることのないように十分ご注意ください。

ソフトウェア・パッケージに関しては、そのソフトウェアが研究所のスーパーコンピュータ、ワークステーション、あるいはパソコンなどに既にインストールしてあり共同利用可能な場合は、原則として購入を認めていません。どうしても必要な場合は、理由書（A4 様式自由）を提出してください。

書籍費は、原則として研究所図書室に保管される図書の購入に利用できます。

基礎研究費・雑費は、研究所の研究教育職員の旅費、人件費、消耗品としての図書費、謝金などとして利用可能です。雑費の申請は合計で5万円以内とします。

(2) 共同研究員旅費

共同研究員旅費は共同研究員が共同利用研究のために研究所へ来所したり、研究所において実施する研究集会に出席する場合のほか、東京都区部外において野外調査や資料収集を行う場合に支給されます。研究所の研究教育職員の旅費は野外調査や資料収集を行う場合の他は上記研究費の中から措置してください。

なお、東京都区内在勤者が来所するための旅費は、支給の対象になりませんので、ご承知おきください。

高額の旅費、または外国からの旅費も支給できますが、1人あたり20万円、1件あたり2名を上限とします。実際に20万円を越える額が必要な場合、20万円までは本共同利用で措置しますが、不足分については他の経費で賄ってください。

支給については、情報・システム研究機構旅費規程及び研究所における旅費支給に関する基準によります。

※出張依頼

共同研究を行うにあたっては、当研究所から共同研究員の所属機関に対する出張依頼は平成18年度より原則廃止することといたしました。

なお、出張依頼が必要な場合には総務課研究協力係まで連絡願います。

3 予算の執行手続き

(1) 研究費

消耗品等の購入については、研究所の所定の様式により、予算執行責任者を通じて、管理部会計課用度係に請求してください。

なお、野外調査等において補助者を必要とする場合には、研究所の実施基準により諸手続きを行っていただきますので、ご承知おきください。

(2) 共同研究員旅費

予算執行責任者と十分に連絡をとった上、出張依頼伺（様式 5-1）を、出張初日の3週間前までに、予算執行責任者を通じて、総務課研究協力係に提出してください。なお、共同研究員旅費は精算払いとし、旅行及び関係書類を確認した後に銀行振込により支給します。

また、旅費支給手続きには印鑑が必要になりますので、来所の際は必ず持参してください。

研究所の研究教育職員に関しては、出張命令伺（様式 5-2）を、出張初日の2週間前までに、研究代表者または予算執行責任者の確認を得て、総務課研究協力係に提出してください。

使用にあたって不明な点があれば、予算執行責任者を通じて、総務課研究協力係にご相談ください。

IV 申請書の作成・応募方法

1 応募方法

申請に必要な書類を電子メールに添付の上、下記宛先まで送付してください。

承諾書（別紙3）については、所属長の押印があるものを別途郵送してください。

各様式は、研究所のホームページ（<http://www.ism.ac.jp/kyodo/kyoken07.html>）からダウンロードしてください。MS-WORD ファイル及び PDF ファイルをダウンロードすることができます。

また、申請を行った場合には、申請者に対して総務課研究協力係から受領のメールをお送りしますのでご確認ください。申請後1週間経過しても確認メールが届かない場合には、必ず総務課研究協力係までお問い合わせください。

2 申請書類及び提出部数

研究形態		提出書類	提出部数
共同利用登録公募		様式1（共同利用登録申請書）	1部
		別紙3（承諾書）	1部
共同 利用 研 究 公 募	一般研究1	様式2-1（一般研究1申請書）	1部
		別紙1（研究分担予定者表）	必要枚数
		別紙3（承諾書）	1部
	一般研究2	様式2-2（一般研究2申請書）	1部
		別紙1（研究分担予定者表）	必要枚数
		別紙2（所要経費内訳表）	1部
		別紙3（承諾書）	1部
	萌芽・若手型研究	様式2-3（萌芽・若手型研究申請書）	1部
		別紙1（研究分担予定者表）	必要枚数
		別紙2（所要経費内訳表）	1部
		別紙3（承諾書）	1部
	重点型研究	様式2-4（重点型研究申請書）	1部
別紙1（研究分担予定者表）		必要枚数	
別紙2（所要経費内訳表）		1部	
別紙3（承諾書）		1部	
共同研究集会公募		様式3（共同研究集会申請書）	1部
		別紙1（研究分担予定者表）	必要枚数
		別紙2（所要経費内訳表）	1部
		別紙3（承諾書）	1部

※共同研究レポートの発行計画がある場合は、共同研究レポート発行経費申請書（別紙4、押印があるもの）を併せて郵送してください。

【申請書等の送付先】

〒106-8569 東京都港区南麻布 4-6-7
統計数理研究所 管理部総務課研究協力係
T E L : 03-5421-8709
F A X : 03-3443-3552
E - m a i l : kyodo@ism.ac.jp

3 申請期日

平成18年12月20日（水）【**締切厳守**】

注) 「共同利用登録公募」及び「一般研究1」の申請について、平成19年4月以降も研究期間が3ヶ月以上確保できる場合は、随時受け付けます。

ただし、上記申請期日を経過した後に一般研究1を申請する場合、共同研究レポートの発行の申請はできませんのでご注意ください。

申請書等の作成・記入上の注意

① 申請書

- (1) 「※印」のついた「課題番号」及び「受付番号」は記入しないでください。
- (2) 申請研究テーマに関連する「統計数理研究所内分野分類」と「主要研究分野分類」をそれぞれ「表1 統計数理研究所内分野分類」、「表2 主要研究分野分類」から選択して申請書のA欄、B欄に1つずつ記入してください。なお、これらの分類は申請書類の整理に用いるだけで審査には影響しません。

「統計数理研究所内分野分類」は統計数理研究所における研究組織グループ名に対応します。詳しい内容は研究所ホームページ (http://www.ism.ac.jp/organization/index_j.html) をご覧ください。研究テーマが複数のグループ名に対応する場合は、もっとも主要と思われるものをお選びください。対応するグループがない場合は「j その他」をお選びください。

「主要研究分野分類」も複数のものに対応する場合がありますが、その場合は、もっとも主要と思われるものをお選びください。同等の主要なものが複数含まれる場合は、その中からランダムに1つお選びください。

◆表1 統計数理研究所内分野分類 (A欄に記入)

番号	分野	参照 URL
a	時空間モデリング分野	http://www.ism.ac.jp/organization/sec_modeling.html
b	知的情報モデリング分野	
c	グラフ構造モデリング分野	
d	調査解析分野	http://www.ism.ac.jp/organization/sec_data.html
e	多次元データ解析分野	
f	計算機統計分野	
g	統計基礎数理分野	http://www.ism.ac.jp/organization/sec_analysis.html
h	学習推論分野	
i	計算数理分野	
j	その他	—

◆表2 主要研究分野分類 (B欄に記入)

番号	分野	主要研究領域
1	統計数学分野	統計学の数学的理論、最適化など
2	情報科学分野	統計学における計算機の利用、アルゴリズムなど
3	生物科学分野	医学、薬学、疫学、遺伝、ゲノムなど
4	物理科学分野	宇宙、惑星、地球、極地、物性など

5	工学分野	機械、電気・電子、制御、化学、建築など
6	人文科学分野	哲学、芸術、心理、教育、歴史、地理、文化、言語など
7	社会科学分野	経済、法律、政治、社会、経営、官庁統計、人口など
8	その他	上記以外の研究領域

- (3) 研究所の研究教育職員を参加者に含む共同利用研究については、予算執行責任者名を必ず記入してください。共同研究員のみで構成される共同利用研究については、予算執行責任者名を空欄にしてください。
- (4) 「研究概要・目的」、「研究計画」欄はできる限り詳細に記載してください。記載が過少で、審査のために不十分である場合には、再度提出を求めることがあります。
- (5) ヒトおよび動物を対象とした医学関係の研究については、倫理委員会等による倫理規定をみたりていなければなりません。
- ヒトを対象とする医学研究の倫理的原則（ヘルシンキ宣言）全文和訳は、日本医師会のホームページ（http://www.med.or.jp/wma/helsinki02_j.html）に掲載されています。また、医学研究に係る厚生労働省の指針一覧（<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/kousei/i-kenkyu/>）も参考にしてください。

② 研究分担予定者表

- (1) 「参加予定者の記入例」（表3）を参考に作成してください。
- (2) 経費を伴う研究種別において、予算執行責任者がいる場合は「研究分担予定者表」の1ページの1人目に記載してください。
- 代表者の情報については、「研究分担予定者表」に記入しないでください。
- (3) 参加予定者の所属機関名、部局名、職名、所在地、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス、URL及び専門分野については、申請時のものを必ず正確に記入してください。
- 大学又は大学院に所属の教員については、学科名又は専攻名まで記入してください。
- これに基づき、氏名、専門分野、電子メールアドレス、所属機関・所在地・電話番号、課題番号、課題名を収録した印刷形態の「共同研究員名簿」を作成し、配布しますので、正確に記入してください。また、「共同研究員名簿」作成にあたっては、事前に記載事項についての照会をしますので、ご承知おきください。
- ただし、各種情報の名簿等での公開を承諾されない方は、研究分担予定者表の所定の場所に、その旨記入してください。
- (4) 外国人の場合は、英語で表記してください。
- 氏名は、Last Name, First Name, Middle Nameの順に書いてください。
- （例：Geller, Thomas J.）
- 漢字名も英語表記とし、その後に漢字名を（ ）書きしてください。
- (5) 大学院学生等の所属部局については専攻名まで、年次については申請時の年度における年次を記入してください。
- (6) 参加予定者の専門分野は「平成19年度共同利用に関する専門分野一覧」（表1）とは関係なく、参加予定者本人に確認の後、ご自由に記入してください。
- (7) 課題採択後、所属機関、部局などに変更が生じた場合は、共同研究員等異動報告書（様式6-2）を提出してください。

◆表3 参加予定者の記入例

参加予定者	所属機関	所属部局	職名
大学所属教員	〇〇大学	〇〇学部〇〇学科	教授
独立大学院所属の教員	〇〇大学	大学院〇〇研究科〇〇専攻	教授
官公庁所属の研究者	〇〇省	〇〇研究所〇〇部	主任研究員
独立行政法人所属の研究者	〇〇研究所	〇〇部	研究員
日本学術振興会特別研究員	〇〇大学	〇〇研究所	学振特別研究員
大学院生	〇〇大学	大学院〇〇研究科〇〇専攻	博士(修士)課程 前(後)期〇年
学部学生	〇〇大学	〇〇学部〇〇学科	〇年

③ 承諾書

- (1) 研究代表者の所属機関の所属長の押印があるものを必ず郵送にて提出してください。
- (2) 共同利用登録公募の申請において、申請者が国公立大学の大学院生（卒業論文作成の学部学生を含む）、研究生あるいは日本学術振興会の特別研究員等のいわゆるポスドクの地位を有する者の場合は、指導教員の承諾が必要です。承諾書の所属長は、指導教員と読み替えてください。

④ 所要経費内訳表

- (1) 所用経費について

共同利用研究公募及び共同研究集会公募において、所要経費を申請する場合、所要経費内訳表の作成に当たっては、正確かつ具体的に記入してください。

なお、事項欄は統計関係書籍、関連ソフトウェアなどという表現は避けて、研究目的との関連がわかるようにできるかぎり具体的な表現を用いてください。
 - (2) 研究費について
 - ①「基礎研究費」は、研究に必要な消耗品の購入、会議費、謝金などに使用できます。事項は記入する必要はありません。金額も審査時に一定額（数万円程度）を配分しますので、記入する必要はありません。
 - ②「書籍費」で購入した図書については、原則として研究所の図書室に保管されることとなります。すでに図書室で購入している書籍は購入できません。
 - ③その他、研究所の研究教育職員の旅費、人件費、消耗品としての図書費、謝金、通信費等の事項は、「雑費」の欄に記入してください。「雑費」の欄の合計金額は5万円以内です。

なお、複写費は一括して計上しますので、申請の必要はありません。また、共同研究レポートの発行を希望する場合は、必ず共同研究レポート発行経費申請書（様式4）を提出してください。

 - ④雇用経費は、研究補助等については1時間当たり870円、野外調査補助については1時間当たり930円を目安として積算願います。
- なお、雇用経費の対象となる業務は、研究集会開催補助、研究所内での研究補助・資料整理

及び野外調査補助に限られます。

⑤やむを得ない事情がある場合は、研究所外で開催する研究集会の会場借料の支出をすることができます。

(3) 共同研究員旅費について

次の基準により支給します。申請時は概算でも結構です。

ただし、どの分担者に旅費が必要かを分かるように明記してください。研究集会で、講演者が未定の場合で旅費が必要の際は、その理由を明記してください。

雇用経費による者は、野外調査補助に関わる場合、旅費を支給することができます。

①鉄道賃

ア 旅行区間の運賃

イ 特別急行列車を運行している区間が片道 100km 以上あって当該路線を片道 100km 以上旅行する場合には、当該特別急行料金

ウ 普通急行列車が運行している区間が片道 50km 以上あって当該路線を片道 50km 以上旅行する場合には、当該急行料金

(注意) 特別車両料金 (グリーン料金) は支出することができません。

②航空賃

当該区間の航空運賃 (航空機利用の場合は、領収書の提出が必要です)

③日当・宿泊料

日当・宿泊料は情報・システム研究機構旅費規程に応じた額とします。

(参考)

採択が決定した共同利用研究、共同研究集会について、共同研究経費として研究費及び共同研究員旅費が配分されます。ただし、審査結果、予算配分の都合により減額調整することがあります。

【平成18年度所要経費配分実績】

	研究費			共同研究員 旅 費
	基礎研究費	書籍費	雑費	
金 額	4,100 千円	560 千円	1,430 千円	15,625 千円
件 数	82 件	12 件	46 件	73 件
1 件当たり平均金額	50 千円	47 千円	31 千円	214 千円

V 審査等

1 審査

審査は統計数理研究所共同利用委員会で行います。

審査の過程でいくつかの事項を修正すれば優れた研究になると思われるものについては、その旨を申請者に通知し、再度申請書を提出していただいた後、再審査することがあります。継続申請の場合は、申請時までの成果を参考にして審査を行います。優れた成果を挙げている研究については優遇措置をとりますが、成果に問題があると判断された場合は、計画の修正等を要求することもあります。

2 採否決定の通知

平成19年3月中旬頃

(通知の時期が前後する場合がありますので、あらかじめご了承ください。)

3 配分経費の通知

平成19年6月中旬頃

(通知の時期が前後する場合がありますので、あらかじめご了承ください。)

VI 施設等の利用

1 案内

利用登録者、共同研究員は、共同利用、共同研究遂行上必要な場合は、次のとおり研究所の施設等を利用することができます。

共同利用研究に研究所の研究教育職員を含む場合は予算執行責任者、含まない場合及び利用登録者は総務課研究協力係と十分連絡をとってください。

また、施設等の利用に際しては、研究所の諸規則を守り、利用する施設等の管理責任者の指示に従ってください。

2 電子計算機

電子計算機を利用する場合は、総務課研究協力係で所定の手続きを行い、2階241（A）号室で入室章の交付を受けてください。入室章は、電子計算機利用の際必ず着用してください。

なお、共同利用で使用可能な計算機及び問い合わせ先については、以下の URL を参照してください。

URL : http://www.ism.ac.jp/computer_system/index_j.html
(統計数理研究所ホームページ→共同利用→計算機利用)

3 図書等

図書等を利用する場合は、2階図書事務室（220号室）で、所定の手続きを行ってください。なお、所蔵図書および問い合わせ先については、以下の URL を参照してください。

URL : http://www.ism.ac.jp/library/index_j.html
(統計数理研究所ホームページ→図書室)

4 IDカード

電子計算機関係施設及び図書等関係施設は、入室管理が ID カードによって行われています（ただし、図書等関係施設は、平日の9時30分～17時00分を除く。）ので、電子計算機及び図書等の利用は、2階計算機管理室（3）（235号室）で所定の手続きをとり、1階の統計科学技術センター（132号室）で ID カードの交付を受けてください。

なお、共同利用研究室には ID カードなしで入室でき、スーパーコンピュータやワークステーションの端末として利用可能なパーソナルコンピュータを利用できます。

また、ID カードの使用期間は、研究期間内となっていますので、研究期間終了後直ちに交付場所に返却してください。

5 その他

(1) 共同利用研究室

1階共同利用研究室（121号室）を使用することができます。共用の机とパーソナルコンピュータを設置しています。研究所の研究教育職員からの助言を受けるためのスペースも設けています。研究打合せ、パソコンの利用等に自由にお使いください。

また、共同利用研究室には事務補佐員が常駐しており、共同研究員のお世話をしています。

(2) 閲覧室

2階図書閲覧室（プレハブ2階）の一部に仕切り付き机を設置し、新刊雑誌を閲覧するため等に用いることができるようにしています。

(3) コインロッカー

2階外来研究員室（240号室）前に、コインロッカー8基を設置しています。（100円硬貨が必要ですが、解錠すれば戻ります。）

(4) 複写機

共同利用研究、共同研究集会に研究所の研究教育職員を含む場合は、予算執行責任者に配布してあるカードを、その他の場合は、総務課研究協力係にあるカードを使用してください。

(5) 談話休憩等

談話休憩等には、新館1階ミーティングルーム（154号室）をご利用ください。

(6) 会議室等

共同研究集会の実施のため、会議室、特別会議室、研修室、講堂を利用することができます。利用を希望する場合は、予算執行責任者あるいは総務課研究協力係へその旨ご連絡ください。なお、利用にあたっては、研究所の行事等が優先されます。

(7) 宿泊施設

研究所には、宿泊施設がありません。また、宿泊の斡旋も行っていないので、あらかじめご了承ください。

VII 成果の公表

1 実施報告書

各研究代表者は、平成20年4月30日（水）までに、統計数理研究所長あてに該当する実施報告書等を提出してください。送付先は総務課研究協力係です。

期日までに提出されない場合は記録に留め、翌年度以降の審査に反映させ、かつ、配分された研究費等の返還を求める場合があります。

提出された各実施報告書は、研究所でとりまとめの上、「統計数理研究所共同利用実施報告書」として作成・印刷する予定です。

なお、「3 情報公開」に記述されている方法で、実施報告書の内容を公開する場合がありますので、ご了承ください。

また、研究所の広報資料等に使用するために、提出された報告書の内容を、研究所の年報等の刊行物に掲載することがありますので、ご承知おきください。

◆実施報告書提出書類一覧

研究形態	提出書類	
共同利用登録	様式7（共同利用登録実施報告書）	別紙4（アンケート）
一般研究1	様式8-1（一般研究1実施報告書）	〃
一般研究2	様式8-2（一般研究2実施報告書）	〃
萌芽・若手型研究	様式8-3（萌芽・若手型研究実施報告書）	〃
重点型研究	様式8-4（重点型研究実施報告書）	〃
共同研究集会	様式9（共同研究集会実施報告書）	〃

2 来所日数調査

共同研究員の研究所への来所日数を調査しています。

共同利用登録、一般研究1にあつては研究代表者が、一般研究2、萌芽・若手型研究、重点型研究、共同研究集会にあつては予算執行責任者が共同研究員の来所日数を調査し、所定の様式に記入の上、平成20年4月30日（水）までに実施報告書と併せて「来所日数調査票」を提出してください。

様式は、共同利用登録、一般研究1にあつては、本研究所のホームページからダウンロード、一般研究2、萌芽・若手型研究、重点型研究、共同研究集会にあつては、総務課研究協力係から予算執行責任者あてに、調査票をお送りします。

3 情報公開

共同利用登録を認められた研究者名、研究テーマ等、採択された共同利用研究、共同研究集会の研究代表者名、参加者名、研究テーマ、実施報告書の内容などを研究所のデータベースに収録し、公開（インターネットなどの計算機ネットワークを通じた公開やフロッピーディスクや CD-ROM 等の電磁的、光学的記録媒体での配布などを含む）しますので、ご了承ください。

さらに、学術雑誌などに発表された共同利用に関係した成果も研究所のデータベースに収録し、研究所内外からの閲覧を容易にすることで、研究所の活性化を図ることを計画していますので、研究成果の登録にご協力ください。

4 研究成果の取扱い

共同利用公募の実施に伴い生じた知的財産権については、原則として共有とし、貢献度に応じて持分を決めます。特許等の出願（外国に対する出願を含む）における詳細は、共同出願契約等にて取決めを行います。

5 研究成果の発表

- (1) 共同利用の成果を口頭または論文として発表するときは、共同利用終了後の経過年数にかかわらず、研究所における共同利用公募に基づくものであることを次の記載例のように明示していただくとともに、当該論文等の別刷 1 部を、総務課研究協力係あてに送付してください。

なお、「3 情報公開」に示している方法で研究成果を公開いたします。

例：和文の場合 統計数理研究所共同研究プログラム（19-共研-_____）

英文の場合 This study was carried out under the ISM Cooperative Research Program
(2007-ISM・CRP-_____)

(注) _____の部分には課題番号を記入してください。

※英語表記は以下のとおりとします。

日本語	英語
統計数理研究所 共同利用	ISM Cooperative Research Program
共同利用登録	Cooperative Use Registration
共同利用研究	Cooperative Research
一般研究 1	General Cooperative Research 1
一般研究 2	General Cooperative Research 2
萌芽・若手型研究	Cooperative Research for Exploratory Study or Young Researchers
重点型研究	Specially Promoted Research
共同研究集会	Cooperative Research Symposium
共同研究レポート	Cooperative Research Report

(2) 研究所が編集する学術雑誌として「Annals of the Institute of Statistical Mathematics」(英文誌、Kluwer Academic Publishers 発行、年4回)及び「統計数理」(和文誌、研究所発行、年2回)があります。これらの雑誌で共同利用の成果を特集として公開することを共同利用委員会が企画することもあります。

「統計数理」に研究会報告を投稿される場合は、研究会終了後3ヶ月以内に、原稿を「統計数理編集委員会」あてに提出してください。3ヶ月を過ぎた場合、受け付けられないこともあります。なお、投稿についての詳細は下記をご参照ください。

Annals of the Institute of Statistical Mathematics

The Aims and Scope : <http://www.ism.ac.jp/editsec/aism/scope-j.html>

Information for Authors : <http://www.ism.ac.jp/editsec/aism/info-author-j.html>

「統計数理」投稿規定、執筆要項 : <http://www.ism.ac.jp/editsec/toukei/toukougitei.html>

(3) 統計数理研究所ニュース、Activity Report などの広報誌で、共同利用の成果や関連情報の広報などを行っていきますので、ご協力ください。

6 秘密保持義務

共同利用公募の実施に伴い生じた研究成果及び研究所から開示を受け又は知り得た情報については、既に自己が保有していた又は既に公知となった情報、開示を受け又は知得した後に自己の責めによらず公知となった情報、研究所から同意を得た場合を除き、共同利用公募実施終了後2年間秘密を保持しなければなりません。

VIII その他

1 研究計画の変更等

(1) 研究実施計画の変更

研究遂行上、やむを得ない事由（長期海外渡航・人事異動等）により共同利用実施計画の変更等を必要とする場合は、速やかに共同利用計画変更願（様式 6-1）を総務課研究協力係あてに提出してください。

参加者の変更が複数人についてある場合は、様式 6-1 にその旨記載し、様式 6-3 に変更内容を記入の上、提出してください。

なお、変更等に伴う経費の増額はできませんので、ご承知おきください。

(2) 共同研究員・利用登録者の異動の報告

上記①の場合のほか、共同研究員・利用登録者の「所属機関」・「所属部局」・「職名」に変更があった場合、また、所属機関・部局の異動に伴う「所在地」・「電話番号」・「ファックス」・「メールアドレス」・「URL」に変更が生じた場合は、速やかに共同研究員等異動報告書（様式 6-2）を総務課研究協力係あてに提出してください。

2 研究集会開催の周知

共同利用による研究活動に対し、広く理解を得るため、研究集会の開催日程・内容の概要等を周知することができます。希望する場合は、次により手続きしてください。

(1) 「統計数理研究所ニュース」への掲載

共同利用による研究集会の開催案内を研究所の広報誌「統計数理研究所ニュース」に掲載することができます。

希望する場合は研究代表者（又は予算執行責任者）から、原稿締切日までに様式 8-1 により原稿を提出してください。

掲載内容及び原稿締切日は次のとおりです。

1. 掲載内容

研究集会名、開催日程、開催場所、研究集会の内容、発表者所属・氏名、連絡先

2. 原稿締切日

3月15日（4月発行）

6月15日（7月発行）

9月15日（10月発行）

12月15日（1月発行）

(2) 研究集会プログラム等の配布

研究集会の具体的なプログラム等を「統計数理研究所ニュース」の送付時に同封し、同ニュースの発送先に配布することができます。希望する場合は、研究代表者（又は予算執行責任者）から、ニュース発行月の18日までに、様式 8-2 によりプログラム等（A4判、1,100部）を提出してください。通常、発行月の下旬に発送します。

- 統計数理研究所ニュースの配布先
各共同利用研究代表者、国立大学法人、公私立大学統計関係学部・学科、統計関係学会、
統計関係研究機関等 約1,100部
- 書類提出先
統計数理研究所管理部総務課研究協力係

参考資料

別表 1 旅費早見表

この早見表は、JR 東京駅と各県庁所在地都市（県庁所在地に国立大学がない場合は、国立大学の所在都市又は国立大学の所在地から最も近い都市）との間の鉄道、航空、バス等の概算運賃（往復）を掲載したものです（割引料金、時期的なことによる運賃の変動がありますので、予めご了承ください）。

（単位：円）

	距離	鉄 道		航空運賃	車 賃	合計金額	備 考
		運 賃	特急料金				
札幌	1,211.5	3,400		51,000		55,000	
弘 前	765.3	19,000	14,000			33,000	八戸経由
秋 田	662.6	18,000	14,000			32,000	
盛 岡	535.3	17,000	11,000			27,000	
仙 台	351.8	12,000	10,000			22,000	
山 形	359.9	12,000	10,000			22,000	
福 島	272.8	10,000	8,000			18,000	
水 戸	121.1	5,000	4,000			9,000	
宇都宮	109.5	4,000	6,000			10,000	
前 橋	114.8	4,000	6,000			10,000	高崎乗換
さいたま	30.3	1,000				1,000	南与野
千 葉	44.4	2,000				2,000	西千葉
つくば	60.3	2,600				2,600	
横 浜	28.8	1,000				1,000	
新 潟	333.9	11,000	10,000			21,000	
富 山	401.2	14,000	10,000			24,000	越後湯沢乗換
金 沢	460.6	16,000	10,000			26,000	越後湯沢乗換
福 井	545.8	18,000	11,000			29,000	米原乗換
甲 府	134.1	5,000	4,000			9,000	
松 本	235.4	8,000	6,000			14,000	
岐 阜	396.3	13,000	9,000			22,000	名古屋乗換

	距離	鉄 道		航空運賃	車 賃	合 計	備 考
		運賃	特急料金				
名古屋	366.0	13,000	9,000			22,000	
津	432.4	15,000	9,000			24,000	
彦根	451.9	15,000	10,000			25,000	米原乗換
京都	513.6	16,000	11,000			26,000	
大阪	556.4	18,000	11,000			29,000	
神戸	589.5	19,000	11,000			30,000	
奈良	555.3	18,000	11,000			29,000	京都乗換
和歌山	628.7	17,000	12,000			29,000	天王寺乗換
鳥取	767.1	21,000	15,000			36,000	京都乗換
松江	920.9	21,000	16,000			37,000	岡山乗換
岡山	732.9	19,000	13,000			32,000	
広島	894.2	21,000	15,000			36,000	
山口	1,037.3	3,000		51,000		54,000	
徳島	879.2	21,000	16,000			37,000	岡山乗換
高松	804.7	20,000	13,000			33,000	岡山乗換
松山	947.3	22,000	16,000			38,000	岡山乗換
高知	912.2	21,000	16,000			37,000	岡山乗換
福岡	1,061.0	2,000		56,000		58,000	
佐賀	1,117.2	2,000		56,000	2,000	60,000	福岡空港経由
長崎	1,203.6	2,000		60,000	2,000	64,000	
熊本	1,137.5	2,000		50,000	2,000	54,000	
大分	1,000.3	2,000		52,000	3,000	57,000	
宮崎	1,062.2	2,000		46,000	1,000	49,000	
鹿児島	1,169.2	2,000		60,000	3,000	65,000	
那覇	1,707.0	2,000		62,000	1,000	65,000	

別表2 共同研究レポート一覧

登録番号	課題番号	題名	研究代表者・所属
No. 1	共 ー 9	複雑な構造をもつ統計モデルにおけるデータ縮約問題	久保木 久孝・統計数理研究所
No. 2	共 ー 34	数理地震学 地震学における統計数理モデル研究会	斎藤 正徳・東京工業大学
No. 3	61-共研 ー 39	数理地震学 (II) フラクタルと破壊現象の数理	斎藤 正徳・東京工業大学
No. 4	61-共会 ー 14	グラフ理論の数値計算への応用	伊理 正夫・東京大学
No. 5	61-共研 ー 11	線型計画問題の新解法	刀根 薫・埼玉大学
No. 6	62-共会 ー 48	確率過程論の工学・生物学への応用	小倉 久直・京都工芸繊維大学
No. 7	61-共会 ー 46	前兆異常検出の統計的手法	尾池 和夫・京都大学防災研究所
No. 8	62-共会 ー 60	数理地震学 (III) フラクタルと地震現象の数理	斎藤 正徳・東京工業大学
No. 9	62-共研 ー 55	全マントルP波トモグラフィー 地球物理学データのインバージョン	深尾 良夫・名古屋大学
No. 10	62-共研 ー 18	線型計画問題の新解法2	刀根 薫・埼玉大学
No. 11	62-共研 ー 90	パレート・ジーニをめぐる統計的諸問題	田口 時夫・統計数理研究所
	63-共研 ー 88	二次元集中度に関する若干の計算	
No. 12	63-共会 ー 52	工学・生物学における不規則変動現象の数理的解析	佐藤 俊輔・大阪大学
No. 13	61-共研 ー 22	統計環境に関する住民意識調査 I・報告集	田口 時夫・統計数理研究所
No. 14	62-共研 ー 31	統計環境に関する住民意識調査 II・資料集	田口 時夫・統計数理研究所
No. 15	62-共研 ー 31	統計環境に関する住民意識調査 III・自由回答の分析と結果の利用	田口 時夫・統計数理研究所
No. 16	63-共研 ー 100	自然環境についての標本調査法の研究	多賀 保志・横浜市立大学
No. 17	63-共研 ー 78	歯科疾患実態調査データのコウホート分析	中村 隆・統計数理研究所
No. 18	63-共研 ー 99	多重比較方式の諸問題	吉村 功・名古屋大学
No. 19	63-共研 ー 15	線型計画問題の新解法3	田辺 國士・統計数理研究所
No. 20	1-共会 ー 50	工学・生物学における不規則現象解析の諸問題	吉川 昭・東邦大学
No. 21	1-共会 ー 19	非定常又は非線形な時系列の推測に関する研究	藤井 光昭・東京工業大学
No. 22	1-共会 ー 102	毒性・薬効データ解析における多重比較法の利用	吉村 功・名古屋大学
No. 23	1-共研 ー 101	自然環境についての標本調査法の研究 (II)	多賀 保志・日本鯨類研究所
No. 24	1-共研 ー 64	Mathematical Seismology (V) : Fracture, Form and Fractals	斎藤 正徳・東京工業大学
No. 25	1-共研 ー 28	日本に於る統計学研究の研究環境に関する調査研究	鈴木 義一郎・統計数理研究所
No. 26	2-共会 ー 26	時系列解析の研究	岡本 雅典・広島大学
No. 27	2-共会 ー 97	リスク評価のための毒性・薬効データ解析法の研究	吉村 功・名古屋大学
No. 28	2-共会 ー 56	数理地震学 (VI)	斎藤 正徳・東京工業大学
No. 29	1-共研 ー 16	非線形最適化: モデルとアルゴリズム 1	田辺 國士・統計数理研究所
No. 30	2-共研 ー 10	確率過程における統計的推測の基礎的構造の研究	鈴木 武・早稲田大学
No. 31	3-共会 ー 3	時系列に関する推測の理論とその応用	藤井 光昭・東京工業大学
No. 32	3-共会 ー 7	工学・生物学における不規則現象とその情報処理	太田 光雄・近畿大学
No. 33	3-共会 ー 10	考古学における計量分析	堅田 直・帝塚山大学
No. 34	3-共会 ー 8	数理地震学 (VII)	斎藤 正徳・東京工業大学
No. 35	2-共研 ー 15	最適化: モデルとアルゴリズム 2	田辺 國士・統計数理研究所
No. 36	3-共研 ー 1	確率過程における統計的推測の基礎的構造の研究	鈴木 武・早稲田大学
No. 37	3-共会 ー 6	球面上の形態形成と情報処理	小川 泰・筑波大学
No. 38	4-共会 ー 8	考古学における計量分析 II	堅田 直・帝塚山大学
No. 39	4-共会 ー 2	時系列に関する推測の理論と応用	酒井 英昭・京都大学
No. 40	4-共会 ー 6	工学・生物学における不規則現象のモデル化とその解析処理方法	八名 和夫・法政大学
No. 41	4-共研 ー 94	日本人の意識調査のコウホート分析	中村 隆・統計数理研究所
No. 42	4-共研 ー 8	確率過程における統計的推測の基礎的構造の研究	鈴木 武・早稲田大学
No. 43	4-共研 ー 6	確率過程の大域的性質の研究	大倉 弘之・京都工芸繊維大学
No. 44	4-共研 ー 14	安定分布・安定過程およびその周辺の研究	志村 隆彰・統計数理研究所
No. 45	3-共会 ー 2	最適化: モデリングとアルゴリズム 3	田辺 國士・統計数理研究所
No. 46	5-共会 ー 11	考古学における計量分析 III	堅田 直・帝塚山大学
No. 47	5-共会 ー 3	時系列解析の理論と応用	中野 純司・一橋大学
No. 48	5-共会 ー 7	確率モデルと非線形可積分系	中村 佳正・同志社大学
No. 49	5-共会 ー 6	工学・理学に関する不規則現象の解析ー理論と応用ー	杉山 宏・湘南工科大学
No. 50	5-共研A ー 49	結晶の対称性の統計的分布	伊藤 栄明・統計数理研究所
No. 51	5-共研A ー 11	加法過程に関する諸問題	志村 隆彰・統計数理研究所
No. 52	5-共会 ー 9	地震と不均質媒質の変形破壊現象にみる非線形過程のモデル化とその数理	大内 徹・神戸大学
No. 53	5-共会 ー 2	最適化: モデリングとアルゴリズム 4	田辺 國士・統計数理研究所
No. 54	4-共研 ー 19	データ解析の電子ジャーナル (E J D A)	柴田 里程・慶應義塾大学
No. 55	5-共会 ー 1	MHD数理モデルによる核融合計算と最適設計	牛島 照夫・電気通信大学
No. 56	5-共研A ー 3	確率過程の大域的性質の研究	大倉 弘之・京都工芸繊維大学
No. 57	5-共研A ー 10	確率過程における統計的推測の基礎的構造の研究	鈴木 武・早稲田大学
No. 58	4-共研 ー 11	無限次元空間上の統計学の研究	吉田 朋広・統計数理研究所
No. 59	5-共研A ー 30	非線形現象のシステム設計と予測解析の確率過程論研究	岡部 靖憲・北海道大学
No. 60	5-共研B ー 2	拡張された非平衡熱力学とOnsager-Machlup関数	北原 和夫・東京工業大学

登録番号	課題番号	題名	研究代表者・所属
No. 61	6-共会 - 3	最適化：モデリングとアルゴリズム 5	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 62	6-共会 - 13	考古学における計量分析IV	堅田 直 ・ 帝塚山大学
No. 63	6-共会 - 5	時系列解析の理論と応用	谷口 正信 ・ 大阪大学
No. 64	6-共会 - 6	理工学分野の不規則現象の解析－理論と応用－	大松 繁 ・ 徳島大学
No. 65	5-共研C - 2	遺伝子構造データ解析のための統計的方法の開発	長谷川 政美 ・ 統計数理研究所
No. 66	6-共研A - 46	結晶の種の定義と対称性の統計的分布	伊藤 栄明 ・ 統計数理研究所
No. 67	6-共研A - 57	生物分類への統計的アプローチ	小野山 敬一 ・ 帯広畜産大学
No. 68	6-共会 - 7	逆問題とその周辺	岸田 邦治 ・ 岐阜大学
No. 69	6-共会 - 11	強結合系に於ける時空相関パターンと計算機シミュレーション	宗像 豊哲 ・ 京都大学
No. 70	6-共研A - 98	言語の文法構造のデータの統計解析	上田 澄江 ・ 統計数理研究所
No. 71	6-共研A - 13	推定論とその応用の研究	山田 作太郎 ・ 東京水産大学
No. 72	6-共会 - 2	MHD数値モデルによる核融合計算と最適設計	牛島 照夫 ・ 電気通信大学
No. 73	6-共会 - 3	最適化：モデリングとアルゴリズム 6	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 74	5-共研C - 1	電波干渉計データに基づく統計的画像形成処理	石黒 真木夫 ・ 統計数理研究所
No. 75	6-共研A - 8	加法過程に関連する諸問題（2）	志村 隆彰 ・ 統計数理研究所
No. 76	6-共会 - 8	数理生理学における決定論・確率モデルの基本理論的研究	三村 昌康 ・ 東京大学
No. 77	7-共会 - 3	最適化：モデリングとアルゴリズム 7	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 78	7-共会 - 10	考古学における計量分析V	堅田 直 ・ 帝塚山大学
No. 79	7-共会 - 4	時系列解析の理論と応用	近藤 正男 ・ 鹿児島大学
No. 80	7-共会 - 6	理工学における不規則現象の解析手法とその応用	酒井 英昭 ・ 京都大学
No. 81	7-共会 - 5	逆問題とその周辺（2）	金野 秀敏 ・ 筑波大学
No. 82	7-共研A - 17	推定論とその応用の研究（2）	山田 作太郎 ・ 東京水産大学
No. 83	7-共研A - 36	無機結晶データベース（ICSD）を用いた結晶群の出現頻度（Ⅲ）	伊藤 栄明 ・ 統計数理研究所
No. 84	7-共会 - 3	最適化：モデリングとアルゴリズム 8	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 85	7-共会 - 2	MHD数値モデルによる核融合計算と最適設計	牛島 照夫 ・ 電気通信大学
No. 86	7-共研A - 11	多変量質的データの構造解析に関する研究	柳井 晴夫 ・ 大学入試センター
No. 87	7-共研A - 104	リモートセンシングデータに基づく半乾燥地帯の統計的分析法	星 仰 ・ 茨城大学
No. 88	7-共研A - 1	加法過程の諸問題（3）	志村 隆彰 ・ 統計数理研究所
No. 89	8-共研B - 2	中心化ニュートン法と最適化の微分幾何	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 90	8-共会 - 4	時系列解析の理論と応用	細谷 雄三 ・ 東北大学
No. 91	8-共会 - 5	不規則変動現象の数理的解析手法とその理工学への応用	山本 光璋 ・ 東北大学
No. 92	8-共会 - 3	最適化：モデリングとアルゴリズム 9	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 93	8-共研A - 9	推定論とその応用の研究（3）	山田 作太郎 ・ 東京水産大学
No. 94	8-共会 - 6	逆問題とその周辺（3）	岸田 邦治 ・ 岐阜大学
No. 95	7-共研A - 6	主成分分析におけるノンパラメトリック検定法の研究	牛沢 賢二 ・ 産能大学
No. 96	8-共研A - 12	インターネットによる統計に関する情報提供システムに関する研究	藤井 光昭 ・ 大学入試センター
No. 97	8-共会 - 3	最適化：モデリングとアルゴリズム 10	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 98	8-共研A - 47	結晶群の出現頻度とランダムウォーク	伊藤 栄明 ・ 統計数理研究所
No. 99	8-共研B - 7	大気拡散の確率数値解析的研究	小川 重義 ・ 京都工芸繊維大学
No. 100	8-共研A - 13	多変量質的データの構造解析に関する研究（Ⅱ）	柳井 晴夫 ・ 大学入試センター
No. 101	8-共研A - 55	統計物理と統計学の境界領域の研究	伊庭 幸人 ・ 統計数理研究所
No. 102	8-共研A - 3	無限分解可能過程に関連する諸問題	志村 隆彰 ・ 統計数理研究所
No. 103	9-共会 - 6	時系列解析の理論と応用	細谷 雄三 ・ 東北大学
No. 104	9-共会 - 3	最適化：モデリングとアルゴリズム 11	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 105	8-共会 - 2	核融合研究における数値解析手法と最適化	加古 孝 ・ 電気通信大学
No. 106	9-共会 - 9	理工学・医学における不規則変動現象のモデル化とその応用	木竜 徹 ・ 新潟大学
No. 107	9-共研A - 3	統計解析理論とその応用の研究	久保木 久孝 ・ 電気通信大学
No. 108	9-共会 - 8	逆問題とその周辺（4）	金野 秀敏 ・ 筑波大学
No. 109	9-共研A - 5	無限分解可能過程に関連する諸問題（2）	志村 隆彰 ・ 統計数理研究所
No. 110	9-共会 - 5	核融合研究における数値解析手法と最適化	加古 孝 ・ 電気通信大学
No. 111	9-共研A - 15	確率過程の漸近分布論の研究	志村 隆彰 ・ 統計数理研究所
No. 112	10-共研A - 15	無限分解可能過程に関連する諸問題（3）	渡部 俊朗 ・ 会津大学
No. 113	10-共会 - 4	最適化：モデリングとアルゴリズム 12	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 114	10-共会 - 9	理工学分野での不規則現象の数理的解析－理論と応用	蕨 弘幸 ・ 東邦大学
No. 115	10-共会 - 7	時系列・時空間事象の統計的解析	間瀬 茂 ・ 東京工業大学
No. 116	8-共研A - 44	ジーニ統計学とその展開	田中 力 ・ 立命館大学
	9-共研A - 47	ジーニ統計学とその展開	
No. 117	10-共会 - 3	離散幾何と統計数理	前原 潤 ・ 琉球大学
No. 118	10-共会 - 5	ノンパラメトリック確率密度関数の推定法とその周辺	寒河江 雅彦 ・ 岐阜大学
No. 119	10-共会 - 10	乱流の統計理論とその応用	岡崎 卓 ・ 統計数理研究所
No. 120	10-共研A - 13	確率論における極限定理に関する研究	濱名 裕治 ・ 九州大学
No. 121	10-共研A - 5	統計解析理論とその応用の研究（2）	久保木 久孝 ・ 電気通信大学

登録番号	課題番号	題名	研究代表者・所属
No. 122	10-共会 - 8	逆問題とその周辺 (5)	渡辺 澄夫 ・ 東京工業大学
No. 123	11-共研 - 2037	工学・理学における不規則変動現象の数理的解析—理論と応用	戸田 尚宏 ・ 愛知県立大学
No. 124	11-共研 - 2029	時系列・時空間事象の統計的解析	間瀬 茂 ・ 東京工業大学
No. 125	11-共研 - 2024	最適化:モデリングとアルゴリズム 1 3	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 126	11-共研 - 2044	長期療養時代の保健医療福祉システムの検討 (1)	大野 ゆう子 ・ 大阪大学
No. 127	11-共研 - 2004	無限分解可能過程に関連する諸問題 (4)	渡部 俊朗 ・ 会津大学
No. 128	11-共研 - 2035	逆問題とその周辺 (6)	鷺尾 隆 ・ 大阪大学
No. 129	11-共研 - 2038	乱流の統計理論とその応用	岡崎 卓 ・ 統計数理研究所
No. 130	11-共研 - 2003	統計解析理論とその応用の研究 (3)	久保木 久孝 ・ 電気通信大学
No. 131	11-共研 - 2005	計算機科学に現れる確率的問題研究	杉田 洋 ・ 九州大学
No. 132	11-共研 - 2008	統計数理とデータマイニング・発見科学	今井 浩 ・ 東京大学
No. 133	11-共研 - 3001	大規模情報通信ネットワークの性能評価	町原 文明 ・ 東京電機大学
No. 134	11-共研 - 1025	ノンパラメトリック・ファンクショナル推定の理論と応用	小暮 厚之 ・ 千葉大学
No. 135	12-共研 - 4003	最適化:モデリングとアルゴリズム	田辺 國士 ・ 統計数理研究所
No. 136	12-共研 - 4006	乱流の統計理論とその応用	岡崎 卓 ・ 統計数理研究所
No. 137	12-共研 - 4008	無限分解可能過程に関連する諸問題	井上 和行 ・ 信州大学
No. 138	12-共研 - 4010	逆問題とその周辺	金野 秀敏 ・ 筑波大学
No. 139	12-共研 - 2028	長期療養時代の保健医療福祉システムの検討	大野 ゆう子 ・ 大阪大学
No. 140	12-共研 - 4005	自然科学における不規則現象の数理モデルによる解析	坂口 文則 ・ 福井大学
No. 141	12-共研 - 2051	環境動態解析に於ける統計的認識方法の開発およびその実証的研究	岩瀬 見盛 ・ 広島大学
No. 142	12-共研 - 4001	統計数理とデータマイニング・発見科学	今井 浩 ・ 東京大学
No. 143	12-共研 - 4002	ノンパラメトリック統計モデルの推定法と平滑化法	寒河江 雅彦 ・ 岐阜大学
No. 144	13-共研 - 4004	動的システムにおける情報・計算・ゲームの様相	泰地 真弘人 ・ 統計数理研究所
No. 145	13-共研 - 1021	生物の初期進化の解明:研究の現状とデータの問題点	橋本 哲男 ・ 統計数理研究所
No. 146	13-共研 - 2004	無限分解可能過程に関連する諸問題	井上 和行 ・ 信州大学
No. 147	13-共研 - 2029	女性の自立意識の分析—郵送調査とWeb調査による比較分析と調査法の検討—	高倉 節子 ・ 長崎純心大学
No. 148	13-共研 - 4003	最適化:モデリングとアルゴリズム	田邊 國士 ・ 統計数理研究所
No. 149	13-共研 - 4007	乱流の統計理論とその応用	岡崎 卓 ・ 統計数理研究所
No. 150	13-共研 - 4006	理・工・医学における揺らぎ現象のモデル化と人間情報処理	畠山 一達 ・ 近畿大学
No. 151	13-共研 - 4005	逆問題とその周辺	岸田 邦治 ・ 岐阜大学
No. 152	13-共研 - 1017	音声・テキストメディアの符号化ビットストリーム解析による符号化性能の評価	大関 和夫 ・ 芝浦工業大学
No. 153	13-共研 - 2048	長期療養時代の保健医療福祉システムの検討	大野 ゆう子 ・ 大阪大学
No. 154	13-共研 - 2060	ブナ林の遺伝構造とその解析のための空間統計学	島谷 健一郎 ・ 統計数理研究所
No. 155	13-共研 - 2020	集約型データのノンパラメトリック推定法	寒河江 雅彦 ・ 岐阜大学
No. 156	14-共研 - 2027	結晶群の出現頻度の統計的解析	伊藤 栄明 ・ 統計数理研究所
No. 157	14-共研 - 2003	無限分解可能過程に関連する諸問題	石川 保志 ・ 愛媛大学
No. 158	13-共研 - 2020	21世紀の診断工学とその周辺	岩木 直 ・ 産業技術総合研究所
No. 159	14-共研 - 2048	21世紀型保健医療指標の開発	大野 ゆう子 ・ 大阪大学
No. 160	14-共研 - 2056	スポーツ・レクリエーション参加のコーホート分析	中村 隆 ・ 統計数理研究所
No. 161	14-共研 - 4002	最適化:モデリングとアルゴリズム	田邊 國士 ・ 統計数理研究所
No. 162	14-共研 - 2055	英語コーパスにおける文章難易度の測定について—応用言語学視点を用いて—	高橋 薫 ・ 豊田工業高等専門学校
No. 163	14-共研 - 4003	動的システムの情報論	佐藤 譲 ・ 理化学研究所
No. 164	14-共研 - 2021	ノンパラメトリック統計モデルと平滑化	寒河江 雅彦 ・ 岐阜大学
No. 165	15-共研 - 1018	経済成長率に対する教育投資効果の統計解析	川崎 能典 ・ 統計数理研究所
No. 166	15-共研 - 2037	21世紀型保健医療指標の開発 (2)	大野 ゆう子 ・ 大阪大学
No. 167	15-共研 - 4004	21世紀の診断工学とその周辺	伊良皆 啓治 ・ 東京大学
No. 168	15-共研 - 4002	最適化:モデリングとアルゴリズム	田邊 國士 ・ 統計数理研究所
No. 169	15-共研 - 4001	極値理論の工学への応用	高橋 倫也 ・ 神戸商船大学
No. 170	15-共研 - 2002	無限分解可能過程に関連する諸問題	石川 保志 ・ 愛媛大学
No. 171	14-共研 - 4003	動的システムの情報論Ⅲ	佐藤 譲 ・ 理化学研究所
No. 172	16-共研 - 4004	乱流の統計理論とその応用	岡崎 卓 ・ 統計数理研究所
No. 173	16-共研 - 4006	21世紀の診断工学とその周辺 (2)	眞溪 歩 ・ 東京大学
No. 174	16-共研 - 4002	極値理論の工学への応用	高橋 倫也 ・ 神戸大学
No. 175	16-共研 - 4001	無限分解可能過程に関する諸問題	平場 誠示 ・ 東京理科大学
No. 176	16-共研 - 2041	21世紀型保健医療指標の開発 (3)	大野 ゆう子 ・ 大阪大学
No. 177	16-共研 - 1007	新分野開拓/経済物理とその周辺	田中 美栄子 ・ 鳥取大学
No. 178	16-共研 - 4003	最適化:モデリングとアルゴリズム	土谷 隆 ・ 統計数理研究所
No. 179	16-共研 - 2017	局所モーメント法に関する研究	寒河江 雅彦 ・ 岐阜大学
No. 180	16-共研 - 2008	独立成分分析に関する理論とその応用	南 美穂子 ・ 統計数理研究所
No. 181	16-共研 - 4004	動的システムの情報論 4	藤本 仰一 ・ 東京大学
No. 182	17-共研 - 4009	統計サマーセミナー	二宮 嘉行 ・ 九州大学
No. 183	17-共研 - 4002	極値理論の工学への応用	高橋 倫也 ・ 神戸大学

登録番号	課題番号	題名	研究代表者・所属
No. 184	17-共研 - 4001	無限分解可能過程に関連する諸問題	平場 誠示 ・ 東京理科大学
No. 185	17-共研 - 2049	病棟業務量調査に基づく医療需給バランスおよび病棟設計に関する研究	大野 ゆう子 ・ 大阪大学
No. 186	17-共研 - 4006	21世紀の診断工学とその周辺	金野 秀敏 ・ 筑波大学
No. 187	17-共研 - 4005	経済物理とその周辺	田中 美栄子 ・ 鳥取大学
No. 188	17-共研 - 2036	形態形成育種形質の評価における簡便な光計測による計測と解析	平田 豊 ・ 東京農工大学
No. 189	17-共研 - 1022	座り心地に関する統計学的研究	三家 礼子 ・ 早稲田大学
No. 190	17-共研 - 2058	言語コーパス解析における共起語検出のための統計手法の比較研究	石川 慎一郎 ・ 神戸大学
No. 191	17-共研 - 4004	最適化：モデリングとアルゴリズム	土谷 隆 ・ 統計数理研究所
No. 192	17-共研 - 4003	動的システムの情報論 5	藤本 仰一 ・ 東京大学

申請書等様式（見本）

各様式は、ホームページから
ダウンロードしてください。

<http://www.ism.ac.jp/kyodo/kyoken07.html>

申請書等様式

様式 1	平成 19 年（2007 年）度	共同利用登録申請書
様式 2-1	平成 19 年（2007 年）度	一般研究 1 申請書
様式 2-2	平成 19 年（2007 年）度	一般研究 2 申請書
様式 2-3	平成 19 年（2007 年）度	萌芽・若手型研究申請書
様式 2-4	平成 19 年（2007 年）度	重点型研究申請書
様式 3	平成 19 年（2007 年）度	共同研究集会申請書
様式 4		共同研究レポート発行経費申請書
様式 5-1		出張依頼伺
様式 5-2		出張命令伺
様式 6-1	平成 19 年（2007 年）度	共同利用計画変更願
様式 6-2	平成 19 年（2007 年）度	共同研究員等異動報告書
様式 6-3	平成 19 年（2007 年）度	共同利用計画変更願 別紙
様式 7	平成 19 年（2007 年）度	共同利用登録実施報告書
様式 8-1	平成 19 年（2007 年）度	一般研究 1 実施報告書
様式 8-2	平成 19 年（2007 年）度	一般研究 2 実施報告書
様式 8-3	平成 19 年（2007 年）度	萌芽・若手型研究実施報告書
様式 8-4	平成 19 年（2007 年）度	重点型研究実施報告書
様式 9	平成 19 年（2007 年）度	共同研究集会実施報告書
様式 10-1		研究集会開催案内の「統計数理研究所ニュース」掲載について
様式 10-2	平成 19 年（2007 年）度	研究集会プログラム等の送付について
別紙 1		研究分担予定者表
別紙 2		所要経費内訳表
別紙 3		承諾書
別紙 4		アンケート

【様式1】

A欄		B欄		※課題番号	19-共研-	※受付番号	
----	--	----	--	-------	--------	-------	--

平成19年(2007年)度 共同利用登録申請書

平成 年 月 日

統計数理研究所長 殿

下記のとおり、共同利用登録を行いたいので申請します。

フリガナ 氏名		ローマ字	
所属機関			
所属部局			
職名		専門分野	
所在地	〒		
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>

※Web等で公開しない場合は、□を黒く塗りつぶしてください。

研究テーマ (複数可)	
研究概要	
登録の目的	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続(平成 年度から)

【様式2-1】

A欄		B欄		※課題番号	19-共研-	※受付番号	
----	--	----	--	-------	--------	-------	--

平成19年(2007年)度 一般研究1申請書

平成 年 月 日

統計数理研究所長 殿

下記のとおり、一般研究1を行いたいので申請します。

フリガナ 代表者氏名		ローマ字	
所属機関			
所属部局			
職名		専門分野	
所在地	〒		
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>

※Web等で公開しない場合は、□を黒く塗りつぶしてください。

研究テーマ	
研究概要・目的	
研究計画	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続(平成 年度から)
レポートの発行	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない(様式4を添付すること)
研究分担者	所内()名 所外()名 合計()名(別紙1に記入すること)

【様式2-2】

A 欄	B 欄	※課題番号 19- 共研-	※受付番号
-----	-----	---------------	-------

平成 19 年（2007 年）度 一般研究 2 申請書

平成 年 月 日

統計数理研究所長 殿

下記のとおり、一般研究 2 を行いたいので申請します。

フリガナ 代表者氏名		ローマ字	
所属機関			
所属部局			
職 名		専門分野	
所 在 地	〒		
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>

※Web 等で公開しない場合は、を黒く塗りつぶしてください。

研究テーマ	
研究概要・目的	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年度から）
所要経費	合 計（ ）千円 （別紙 2 に記入すること） 研究費（ ）千円 旅費（ ）千円
レポートの発行	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない（様式 4 を添付すること）
研究分担者	所内（ ）名 所外（ ）名 合計（ ）名（別紙 1 に記入すること）
予算執行責任者	

研究計画	研究をどのように進めるか具体的に記入
研究計画と所要経費との関係	（この欄に収まりきらない場合は別紙（A4、様式自由）を添付してください。）
研究経過・業績	この研究のこれまでの経過・業績等について具体的に記入

【様式2-3】

A 欄	B 欄	※課題番号	19-共研-	※受付番号
-----	-----	-------	--------	-------

平成 19 年（2007 年）度 萌芽・若手型研究申請書

平成 年 月 日

統計数理研究所長 殿

下記のとおり、萌芽・若手型研究を行いたいので申請します。

フリガナ 代表者氏名		ローマ字	
所属機関			
所属部局			
職 名		専門分野	
所 在 地	〒		
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>

※ Web 等で公開しない場合は、□を黒く塗りつぶしてください。

研究テーマ	
萌芽・若手の別	<input type="checkbox"/> 萌芽 <input type="checkbox"/> 若手（代表者年齢：平成 19 年 4 月 1 日現在 歳）
研究概要・目的 （萌芽的研究である場合は、その理由）	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年度から）
所要経費	合 計（ ）千円 （別紙 2 に記入すること） 研究費（ ）千円 旅費（ ）千円
レポートの発行	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない（様式 4 を添付すること）
研究分担者	所内（ ）名 所外（ ）名 合計（ ）名（別紙 1 に記入すること）
予算執行責任者	

研究計画	研究をどのように進めるか具体的に記入
研究計画と所要経費との関係	（この欄に収まりきらない場合は別紙（A4、様式自由）を添付してください。）
研究経過・業績	この研究のこれまでの経過・業績等について具体的に記入

【様式2-4】

A欄	B欄	※課題番号	19-共研-	※受付番号
----	----	-------	--------	-------

平成19年(2007年)度 重点型研究申請書

平成 年 月 日

統計数理研究所長 殿

下記のとおり、重点型研究を行いたいので申請します。

フリガナ 代表者氏名		ローマ字	
所属機関			
所属部局			
職 名		専門分野	
所 在 地	〒		
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>

※Web等で公開しない場合は、を黒く塗りつぶしてください。

研究テーマ	
重点テーマ	
コーディネーター	
研究概要・目的 (重点テーマと研究テーマの関連性も記載)	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続(平成 年度から)
所要経費	合 計 () 千円 (別紙2に記入すること) 研究費 () 千円 旅費 () 千円
レポートの発行	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない(様式4を添付すること)
研究分担者	所内 () 名 所外 () 名 合計 () 名(別紙1に記入すること)

研究計画	研究をどのように進めるか具体的に記入
研究計画と所要経費との関係	(この欄に収まりきらない場合は別紙(A4、様式自由)を添付してください。)
研究経過・業績	この研究のこれまでの経過・業績等について具体的に記入

【様式3】

A 欄	B 欄	※課題番号 19-共研-	※受付番号
-----	-----	--------------	-------

平成 19 年 (2007 年) 度 共同研究集会申請書

平成 年 月 日

統計数理研究所長 殿

下記のとおり、共同研究集会を行いたいので申請します。

フリガナ 代表者氏名		ローマ字	
所属機関			
所属部局			
職 名		専門分野	
所 在 地	〒		
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>

※Web 等で公開しない場合は、□を黒く塗りつぶしてください。

研究集会名	
開催日程	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
開催場所	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続 (平成 年度から)
所要経費	合 計 () 千円 (別紙2に記入すること) 研究費 () 千円 旅費 () 千円
レポートの発行	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない (様式4を添付すること)
研究分担者	所内 () 名 所外 () 名 合計 () 名 (別紙1に記入すること)
予算執行責任者	
開催目的	

プログラム案

【様式4】

A 欄		B 欄		※課題番号	19-共研-	※受付番号	
-----	--	-----	--	-------	--------	-------	--

共同研究レポート発行経費申請書

平成 年 月 日

統計数理研究所長 殿

(研究代表者)

所属機関

所属部局

職 名

氏 名

印

下記のとおり、共同研究レポート発行経費を申請します。

記

研究テーマ等	
課題番号	18-共研- (平成18年度の共同研究の成果をレポートとして申請する場合のみ記入)
発行予定年月	平成 年 月
発行予定部数・頁数	部 (約 頁)
規格	B5判 縦型 左とじ
印刷の方法	写真製版
製本の方法	無線とじ、くるみ表紙
表紙	レザック・ブルー系
配付先	
発行経費額	千円 (発行経費が不明な場合は記入不要)
その他	

出張依頼伺	認印	所長	管理部長	総務課長	研究協力係	起案	平成	年	月	日
	印	専決				決裁	平成	年	月	日

下記のとおり依頼してよろしいか伺います。

所属部局課		住所 (又は居所)																																												
職名又は職業		氏名																																												
発令年月日	平成	年	月	日	職務の級	機構の委員等・左記以外・大学院生 (学部学生)					会計課																																			
用務先 (所在地)	共同研究の実施	旅費の出	共同研	子算センター コード	子算科目名 コード	概算払	年	月	日	金額	精算払	年	月	日	金額																															
																旅	行	命	令	権	者	の	認	印	旅	行	者	の	認	印																
																															概	算	払	年	月	日	金	額								
																																							精	算	払	年	月	日	金	額
備	考																																													

注1 二箇所以上出張する場合には、日程を備考欄に記載すること

注2 本様式は管理部長総務課研究協力係に提出して下さい

様式5-2 (共同利用・職員用)

出張命令伺	認印	所長	管理部長	総務課長	庶務係	起案	平成	年	月	日	所属の長印
	印	専決				決裁	平成	年	月	日	

下記のとおり命令してよろしいか伺います。

所属部局課		住所 (又は居所)	東京都港区南麻布4丁目6番7号																																											
職名		氏名																																												
発令年月日	平成	年	月	日	職務の級	年 月 日 教育職(→) 級 号俸					会計課																																			
用務先 (所在地)	共同研究の実施	旅費の出	共同研	子算センター コード	子算科目名 コード	概算払	年	月	日	金額	精算払	年	月	日	金額																															
																旅	行	命	令	権	者	の	認	印	旅	行	者	の	認	印																
																															概	算	払	年	月	日	金	額								
																																							精	算	払	年	月	日	金	額
備	考																																													

注1 二箇所以上出張する場合には、日程を備考欄に記載すること

注2 「所属の長印」欄には、研究主幹又はセンター長の押印するものとする

注3 本様式は管理部長総務課庶務係に提出して下さい

【様式6-1】

平成19年(2007年)度 共同利用計画変更願

平成 年 月 日

統計数理研究所長 殿

(研究代表者又は予算執行責任者)

所属・職名

氏 名 _____

下記のとおり、共同利用計画を変更したいので、ご承認願います。

記

1. 課題番号 19-共研-

2. 研究テーマ _____

3. 変更理由(参加者に変更のある場合は本項及び4項に記入願います。)

4. 参加者の変更(複数人いる場合は、様式6-3に記入の上、提出願います。)

追加・辞退等の区分			
フリガナ 氏 名		ローマ字	
所属機関			
所属部局			
職 名			
専門分野			
所 在 地	〒		
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>

※Web等で公開しない場合は、□を黒く塗りつぶしてください。

【様式6-2】

平成19年(2007年)度 共同研究員等異動報告書

平成 年 月 日

統計数理研究所長 殿

(研究代表者又は予算執行責任者)

所属・職名

氏 名 _____

下記のとおり、人事異動(職名の変更を含む。)がありましたので、報告します。

記

1. 課題番号 19-共研-

2. 研究テーマ _____

3. 旧所属機関等(氏名及び変更となる部分のみ記入)

氏 名		フリガナ	
所属機関			
所属部局			
職 名			
専門分野			
所 在 地	〒		
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>

4. 新所属機関等(氏名及び変更となる部分のみ記入) 【異動年月:平成 年 月 日】

氏 名		フリガナ	
所属機関			
所属部局			
職 名			
専門分野			
所 在 地	〒		
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>

※Web等で公開しない場合は、□を黒く塗りつぶしてください。

【様式6-3】

平成19年(2007年度)度 共同利用計画変更願 別紙

課題番号	19-共研-	研究代表者又は予算執行責任者	
------	--------	----------------	--

追加・辞退等の区分			
フリガナ氏名		ローマ字	
所属機関			
所属部局			
職名		専門分野	
所在地	〒		
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>
フリガナ氏名		ローマ字	
所属機関			
所属部局			
職名		専門分野	
所在地	〒		
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>
フリガナ氏名		ローマ字	
所属機関			
所属部局			
職名		専門分野	
所在地	〒		
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>

※Web等で公開しない場合は、□を黒く塗りつぶしてください。

【様式7】

平成19年(2007年)度 共同利用登録実施報告書

		平成 年 月 日	
課題番号	19-共研-	A欄	B欄
研究テーマ			
フリガナ代表者氏名		ローマ字	
所属機関			
所属部局			
職名			
所在地	〒		
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>

※Web等で公開しない場合は、□を黒く塗りつぶしてください。

研究目的と成果の概要	
------------	--

【様式8-1】

平成19年（2007年）度 一般研究1実施報告書

平成 年 月 日

課題番号	19-共研-	A欄		B欄	
研究テーマ					
フリガナ 代表者氏名		ローマ字			
所属機関					
所属部局					
職名					
所在地	〒				
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>		
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>		

※Web等で公開しない場合は、□を黒く塗りつぶしてください。

研究目的と成果（経過）の概要

【様式8-1】

当該研究に関する情報源（論文発表、学会発表、プレプリント、ホームページ等）

研究会を開催した場合は、テーマ、開催期日、開催場所、参加者数を記入してください。

【様式8-2】

平成19年（2007年）度 一般研究2実施報告書

平成 年 月 日

課題番号	19-共研-	A欄		B欄		
研究テーマ						
フリガナ 代表者氏名			ローマ字			
所属機関						
所属部局						
職名						
所在地	〒					
T E L	<input type="checkbox"/>		F A X	<input type="checkbox"/>		
E-mail	<input type="checkbox"/>		U R L	<input type="checkbox"/>		
配分経費額	研究費	千円	旅費	千円	研究分担者数	人

※Web等で公開しない場合は、□を黒く塗りつぶしてください。

研究目的と成果（経過）の概要

【様式8-2】

当該研究に関する情報源（論文発表、学会発表、プレプリント、ホームページ等）

研究会を開催した場合は、テーマ、開催期日、開催場所、参加者数を記入してください。

【様式8-3】

平成19年(2007年)度 萌芽・若手型研究実施報告書

平成 年 月 日

課題番号	19-共研-	A欄		B欄	
研究テーマ					
萌芽・若手	<input type="checkbox"/> 萌芽 <input type="checkbox"/> 若手				
フリガナ 代表者氏名		ローマ字			
所属機関					
所属部局					
職名					
所在地	〒				
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>		
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>		
配分経費額	研究費	千円	旅費	千円	研究分担者数 人

※Web等で公開しない場合は、□を黒く塗りつぶしてください。

研究目的と成果(経過)の概要

【様式8-3】

当該研究に関する情報源(論文発表、学会発表、プレプリント、ホームページ等)

研究会を開催した場合は、テーマ、開催期日、開催場所、参加者数を記入してください。

【様式8-4】

平成19年（2007年）度 重点型研究実施報告書

平成 年 月 日

課題番号	19-共研-	A欄		B欄		
研究テーマ						
重点テーマ						
フリガナ 代表者氏名			ローマ字			
所属機関						
所属部局						
職名						
所在地	〒					
T E L	<input type="checkbox"/>		F A X	<input type="checkbox"/>		
E-mail	<input type="checkbox"/>		U R L	<input type="checkbox"/>		
配分経費額	研究費	千円	旅費	千円	研究分担者数	人

※Web等で公開しない場合は、□を黒く塗りつぶしてください。

研究目的と成果（経過）の概要

【様式8-4】

当該研究に関する情報源（論文発表、学会発表、プレプリント、ホームページ等）

研究会を開催した場合は、テーマ、開催期日、開催場所、参加者数を記入してください。

【様式9】

平成19年（2007年）度 共同研究集会実施報告書

平成 年 月 日

課題番号	19-共研-	A欄		B欄		
研究テーマ						
フリガナ 代表者氏名			ローマ字			
所属機関						
所属部局						
職名						
所在地	〒					
T E L	<input type="checkbox"/>		F A X	<input type="checkbox"/>		
E-mail	<input type="checkbox"/>		U R L	<input type="checkbox"/>		
配分経費額	研究費	千円	旅費	千円	研究分担者数	人

※Web等で公開しない場合は、□を黒く塗りつぶしてください。

研究目的と成果（経過）の概要

--

【様式9】

当該研究に関する情報源（論文発表、学会発表、プレプリント、ホームページ等）

--

【様式10-1】

平成 年 月 日

研究集会開催案内の「統計数理研究所ニュース」掲載について

(研究代表者又は予算執行責任者)

所属・職名
氏 名

研究集会開催について、来る 月発行の「統計数理研究所ニュース」に掲載願います。

研究集会開催案内の「統計数理研究所ニュース」掲載原稿	
1. 研究集会名	
2. 課題番号	
3. 開催日程	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
4. 開催場所	
5. 連絡先	
6. 研究集会の内容	
7. 発表者所属・氏名	

(注)「6 研究集会の内容」、「7 発表者所属・氏名」については、特に周知したい内容を、合わせて60字以内で記入願います。

【様式10-2】

平成 年 月 日

平成19年(2007年)度 研究集会のプログラム等の送付について

(研究代表者又は予算執行責任者)

所属・職名
氏 名

標記のことについて、下記の研究集会の(プログラム・その他())1,100部を別添のとおり送付しますので、来る 月発行の「統計数理研究所ニュース」送付時に同封の上、関係者へ送付願います。

記

1. 課題番号

2. 研究テーマ

【別紙1】

平成19年(2007年)度 研究分担予定者表

		代表者氏名	
		ページ	/
フリガナ氏名		ローマ字	
所属機関			
所属部局			
職名		専門分野	
所在地	〒		
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>
フリガナ氏名		ローマ字	
所属機関			
所属部局			
職名		専門分野	
所在地	〒		
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>
フリガナ氏名		ローマ字	
所属機関			
所属部局			
職名		専門分野	
所在地	〒		
T E L	<input type="checkbox"/>	F A X	<input type="checkbox"/>
E-mail	<input type="checkbox"/>	U R L	<input type="checkbox"/>

※Web等で公開しない場合は、□を黒く塗りつぶしてください。
 ※この様式には、代表者の情報を記入しないでください。

【別紙2】

※課題番号	19-共研-	※受付番号	
-------	--------	-------	--

平成19年(2007年)度 所要経費内訳表

(注: 千円未満切り下げ)

研究費	千円	共同研究員旅費	千円	合計	千円
-----	----	---------	----	----	----

所要経費	事項(規格等)	数量等	単価	金額
研究費	基礎研究費			※審査時に一定額(数万円程度)を配分します。
	書籍費		円	円
	雑費		円	円
	計			※合計で5万円以内 円

所要経費	旅行区間(時期)	氏名	職名	日数	回数	金額
共同研究員旅費						円
	計					円

【別紙3】

承 諾 書

平成 年 月 日

統計数理研究所長 殿

職 名

申請者の所属長 氏 名

印

下記の平成 19 年（2007 年）度 共同利用公募に申請することを承諾します。

記

申 請 者 氏 名

Ⓜ

所属部局・職名

共同利用の形態

研 究 テ ー マ

【別紙4】

平成 19 年（2007 年）度 共同利用公募アンケート

課題番号 19-共研-

氏 名

下記のアンケートにお答えください。

記

(1) 利用した施設等について、「利用の有無」の欄に○印を付けてください。

利用の有無	施設等
	①統計科学スーパーコンピュータシステム (SGI Altix3700)
	②計算統計学支援システム (XC クラスタシステム)
	③その他の計算機 名称：
	④図書室・図書閲覧室
	⑤共同利用研究室
	⑥ミーティングルーム
	⑦会議室・講堂等
	⑧複写機
	⑨その他利用した施設等があれば、記載してください。 名称：

(2) 図書の貸し出しをうけましたか。

はい	<input type="checkbox"/>	いいえ	<input type="checkbox"/>
----	--------------------------	-----	--------------------------

(3) 研究所の教員から助言を受けましたか。

はい	<input type="checkbox"/>	いいえ	<input type="checkbox"/>
----	--------------------------	-----	--------------------------

(4) 統計数理の共同利用の体制に対するご意見等をお聞かせください。

(注) 申請者が大学院生等の場合は、指導教員の承諾が必要です。